

地区ごとの歴史文化の特徴と主な文化財（案）

No	地区	歴史文化の特徴	主な文化財
1	中部 共同中央港 浜田	①東海道の四日市宿	歴史的建造物（町家）、代官所、永餅、本陣跡、清水家文書、思案橋、薬師寺山門、東海道四日市宿資料館、道標
		②近代産業と四日市港	港湾施設、鉄道・土木構造物、倉庫群・運河、伊藤伝七別邸、稲葉三右衛門、末広橋梁、潮吹防波堤、コンビナート
		③市	室町時代からの市、慈善橋
		④祭礼・行事の民俗文化	四日市祭、鯨船行事、山車文化、大四日市祭
		⑤赤堀三家	浜田城跡、兜鉢、建福寺
		⑥中世の寺院	不動寺、建福寺、東斬寺
		⑦孤野道	西町延命地蔵
		⑧鉄道	JR関西本線・近鉄名古屋線・あすなろう鉄道、引込線
2	橋北	①萬古焼の産地	四日市萬古焼、萬古神社、萬古まつり、人物（山中忠左衛門）
		②東海道および街道沿いの集落形成	道標、常夜燈、嶋小のだんご、助郷
		③工場地帯（コンビナート）	工場建造物、夜景、公害
		④鉄道	JR関西本線
3	海蔵	①萬古焼の産地	人物（山中忠左衛門）、海蔵庵
		②特色ある自然環境	イヌナシ・アイナシ自生地、海蔵川
		③景勝地	海蔵川の桜並木
		④信仰と祭礼行事	伊勢大神楽、獅子舞、奉社祭り
		⑤東海道	道標、一里塚
4	羽津	①東海道	森家住宅、道標、一本松
		②古代史の舞台	天武天皇・聖武天皇ゆかりの地
		③古墳文化	志氏神社古墳、死人谷横穴墓
		④仏教文化	大膳寺跡、浄恩寺、光明寺、弘法大師ゆかりの地
		⑤赤堀三家	羽津城跡
		⑥工場地帯（コンビナート）	工場建造物、夜景
		⑦鉄道	近鉄名古屋線
5	富田	①東海道	間の宿、一里塚、道標、町並み
		②中世の城館	茂福城跡、富田城跡、木造阿彌陀如来像、伊勢平氏
		③多彩な祭礼行事	鯨船行事、石取祭、どんと、ガニ祭り、虫送り
		④港町と地場産業	漁業、製網、アミカン本社建築群、提灯、東富田町の町並み
		⑤景勝地	十四川の桜並木
		⑥鉄道	JR関西本線、近鉄名古屋線、三岐鉄道、JR富田駅、三岐鉄道株式会社本社社屋
		⑦記紀神話の舞台	鳥出神社、ヤマトタケル
6	富洲原	①近代化の先駆け	東洋紡、平田紡、上下水道施設、富洲原小学校講堂
		②古代史の舞台	聖武天皇社
		③漁業の歴史、関連産業（半農半漁）	魚網生産、水産物加工、地引網、いらこ、富田一色の町並み
		④暮らしと祭礼行事	けんか祭り、石取まつり
		⑤八風道	海運橋、回船業
		⑥伊勢湾台風被災	慰霊碑
7	大矢知	①忍藩の代官所	藩校興讓館跡、旧大矢知興讓小学校講堂、松並木
		②古代朝明郡の郡衙	久留倍官衙遺跡、天武天皇迹太川御遷御所跡、立阪神社獅子舞、耳常神社、鏡ヶ池、迹太川
		③中世の城館	大矢知城跡、蒔田城跡
		④八風道	道標、常夜燈、お菓子屋、田村寺
		⑤東海道	宝性寺
		⑥仏教文化	観音寺
		⑦地場産業	素麺、高橋酒造
8	八郷	①古墳文化	浄ヶ坊古墳群、八幡古墳、横穴墓
		②古代の遺跡	西ヶ広遺跡、菟上遺跡
		③中世の城館	伊坂城跡、萱生城跡
		④農村の暮らしの文化	旧平田家住宅、子ども相撲、亥の子、八郷汁など
		⑤八風道	連子のある家、道標
		⑥ダムのある景観	伊坂ダム、山村ダム
9	下野	①古墳文化	広古墳群、持光寺山古墳群、鶯谷古墳群
		②古代の遺跡	中野山遺跡、北山遺跡
		③八風道	道標
		④三賢人	藤井昇善、下田亨三、大賀賢助
		⑤農村の暮らしの文化	子ども相撲

No	地区	歴史文化の特徴	主な文化財
10	保々	①先史時代の遺跡	小牧南遺跡
		②古墳文化	若宮古墳群、公事出古墳群、道具林古墳、筆ヶ崎古墳群
		③古代の遺跡	公事出遺跡、小牧北遺跡
		④中世の寺院	大樹寺、行円寺
		⑤中世の城館	保々西城跡、市場城跡、中野城跡、保々の首塚
		⑥農村の暮らしの文化	地藏盆、天香家文書
		⑦八風道	道標、常夜燈
11	三重	①記紀神話の舞台	足洗池、ヤマトタケル
		②古代史の舞台	地名（三重）の由来、天武天皇ゆかりの地、浄蓮寺、遠保神社
		③古墳文化	御池古墳群、西ヶ谷古窯跡群、小杉大谷古窯
		④暮らしと祭礼行事	大鏡餅神事、獅子舞、御鋤まつり、服部家住宅
		⑤仏教文化	毘沙門天立像
		⑥近代の公共建築物	三重郷土資料館、生桑の水源地
		⑦特色ある自然環境	御池沼沢植物群落
12	県	①農村の暮らしの文化	伝統食、獅子舞、報恩講、伝承・昔話
		②学者、俳人を生んだ地	久保山水、俳人・歌人
		③人の往来	道標
		④景勝地	竹谷川の桜並木、蛭
		⑤古代の遺跡	岡山古窯跡群
		⑥中世の城館	平尾城跡
13	桜	①景勝地	智積養水、三十三間筒
		②特色ある自然環境	桜町シデコブシ群落、乱飛群落、スイラン自生地、トンボ池、オシドリ越冬地
		③古代史の舞台	智積廃寺
		④暮らしと祭礼行事	獅子舞、椿岸神社獅子頭
		⑤菰野道	道標
		⑥巡見道	道標
		⑦酒造りに代表される醸造文化	石川酒造、伊藤酒造
⑧地場産業	桜焼		
14	川島	①伊勢三郎	伊勢三郎義盛（義経の家来）、墓、碑
		②特色ある自然環境	シデコブシ自生地、ホタル、イシモチソウ群落
		③景勝地	ホタル、鹿化川桜並木
		④農村の暮らしの文化	農家建築、算額、伊勢茶、タケノコ
		⑤菰野道	道標
		⑥地場産業	丸彦酒造
		⑦近代産業	川島紡績跡
15	神前	①中世寺院	大日寺、寺院
		②先史時代の遺跡	永井遺跡公園
		③自然豊かな里山	曾井山、翡翠谷
		④暮らしと祭礼行事	獅子舞、亥の子
		⑤菰野道	道標
16	常磐	①古代の遺跡	宮の西遺跡、北中寺遺跡、小判田遺跡
		②中世の寺社	誓元寺、誓覚寺、称行院
		③赤堀三家	赤堀城跡
		④中世の城館	松本城跡、伊勢平氏
		⑤地場産業	製薬、加藤翠松堂
		⑥東海道	道標、町家建築
		⑦菰野道	道標、町家建築
		⑧戦争遺跡	誓元寺奉安殿、松本道場
17	四郷	①近代産業発祥の地	醸造・紡績・製糸関係、旧四郷村役場
		②中世からの寺社と信仰文化	顕正寺、その他の寺社、仏像、伊勢安国寺跡、大念仏
		③農村の暮らしの文化	農家建築、除虫祭、獅子舞
		④風致地区	春の丘、夏の広場、秋の小径
		⑤希少動物の棲む自然環境	カスミサンショウウオ生息地
		⑥鉄道	あすなろう鉄道

No	地区	歴史文化の特徴	主な文化財
18	小山田	①矢田監物と寺社	安性寺、暁覚寺、光輪寺、遠生寺、矢田監物の墓、山田城跡
		②先史時代の遺跡	宮蔵遺跡、一色山遺跡
		③古墳文化	穴塚古墳群、大塚野古墳群、和田ヶ平古墳群、赤池古墳群
		④農村の暮らしと農業を支える技術	獅子舞、ドンド祭、マンボ、ため池、水沢堂ヶ山野境紛争の判決文書
		⑤特色ある自然環境	和無田池のヒメコウホネ、大樟、加富神社社叢
		⑥本草学	鎌井松石
		⑦近代の公共建築物	小山田美術館（旧小山田村役場）
		⑧巡見道	道標
19	水沢	①お茶の栽培と暮らしの文化	冠山茶の木原、茶畑の風景、お諏訪おどり、太鼓踊り、辻久善
		②景勝地	宮妻峡景勝地、もみじ谷景勝地
		③希少動物の棲む自然環境	シデコブシ群落、カモシカ、不動滝、水晶山
		④中世の城跡	水沢城跡
		⑤巡見道・巡礼道	道標
20	日永	①東海道	日永の追分、日永一里塚跡、名残の一本松、間の宿、日永うちわ、足袋、道標
		②景勝地	日永の梅林、南部丘陵公園
		③古墳文化	茶臼山古墳群
		④信仰と祭礼行事	つんつく踊り、茅の輪くぐり、東海道沿いの寺社
		⑤地場産業の技術	日永うちわ、足袋、伊勢蔵（醤油）
		⑥戦争遺跡	燃料廠疎開施設跡
		⑦工場地帯（コンビナート）	工場建造物、夜景
		⑧鉄道	あすなろう鉄道
21	塩浜	①祭礼行事	鯨船行事、獅子舞、狐の嫁入り道中
		②漁業と暮らし	漁業技術、塩づくり
		③参宮下街道	道標
		④工場地帯（コンビナート）	工場建造物、夜景、海軍燃料廠、公害
		⑤鉄道	JR関西本線、引込線
22	内部	①東海道	松並木跡、杖衝坂、松尾芭蕉、うつべ町かど博物館
		②記紀神話の舞台	ヤマトタケル、杖衝坂、血塚社、伊勢の采女
		③古墳文化	北小松古墳群、西野古墳群、菅野古墳群
		④中世の城館	采女城跡
		⑤中世の寺社	上品寺、観音寺、中山寺、モッコク、米田遺跡
		⑥暮らしと祭礼行事	小古曾神社（粥試し神事）
		⑦鉄道	あすなろう鉄道
23	河原田	①伊勢街道	道標、常夜燈
		②信仰と祭礼行事	天王祭、獅子舞、蟹薬師密蔵院
		③古来からの自然災害	鈴鹿川、内部川、災害の歴史
		④地形と暮らし	みかんやま、忘帰處
24	楠	①楠氏による統治	楠城跡および楠氏由来の文化財
		②地場産業（ものづくり）	宮崎本店（酒造）、はまぐり
		③農村の暮らしの文化	岡田邸、用水路（ホタル）、芋泥棒
		④暮らしと信仰、祭礼行事	鯨船行事、湯の花神事
		⑤海浜などの自然	吉崎海岸、ハマヒルガオ、アカウミガメ、蛭、ホンゴウソウ

地区ごとの歴史文化の特徴と主な文化財（案）「特徴ごとまとめ」

No	地区	歴史文化の特徴	主な文化財	関連
3	海蔵	②特色ある自然環境	イヌナシ・アイナシ自生地、海蔵川	1-①
11	三重	⑦特色ある自然環境	御池沼沢植物群落	
13	桜	②特色ある自然環境	桜町シデコブシ群落、乱飛群落、スイラン自生地、トンボ池、オシドリ越冬地	
14	川島	②特色ある自然環境	シデコブシ自生地、ホタル、イシモチソウ群落	
19	水沢	③希少動植物が生息するの棲む自然環境	シデコブシ群落、カモシカ、不動滝、水晶山	
22	内部	②特色ある自然環境	シデコブシ群落	1-②
11	三重	⑦特色ある自然環境	御池沼沢植物群落	
13	桜	②特色ある自然環境	桜町シデコブシ群落、乱飛群落、スイラン自生地、トンボ池、オシドリ越冬地	
14	川島	②特色ある自然環境	シデコブシ自生地、ホタル、イシモチソウ群落	
17	四郷	⑤希少動物の棲む自然環境	カスミサンショウウオ生息地	
18	小山田	⑤特色ある自然環境	和無田池のヒメコウホネ、大樟、加富神社社叢	1-③
19	水沢	③希少動植物が生息するの棲む自然環境	シデコブシ群落、カモシカ、不動滝、水晶山	
22	内部	②特色ある自然環境	中山寺のモッコク	
24	楠	⑤海浜などの自然	吉崎海岸、ハマヒルガオ、アカウミガメ、蜚、ホンゴウソウ	
3	海蔵	③景勝地	海蔵川の桜並木	
5	富田	⑤景勝地	十四川の桜並木	1-③
8	八郷	⑥ダムのある景観	伊坂ダム、山村ダム	
10	保々		古城川の蜚	
12	県	④景勝地	竹谷川の桜並木、蜚	
14	川島	③景勝地	ホタル、鹿化川桜並木	
24	楠		蜚	
19	水沢	②景勝地	宮妻峡景勝地、もみじ谷景勝地、不動滝、水晶山	
11	三重		海蔵側中流域（淡水魚）	
20	日永	②景勝地	日永の梅林、南部丘陵公園	
23	河原田	④地形と暮らし	みかんやま、忘帰處	
15	神前	③自然豊かな里山	曾井山、翡翠谷	2-①
17	四郷	④風致地区	春の丘、夏の広場、秋の小径	
18	小山田	②先史時代の遺跡(旧石器・縄文)	宮蔵遺跡、一色山遺跡	
10	保々	①先史時代の遺跡(縄文)	小牧南遺跡	
15	神前	②先史時代の遺跡(弥生)	永井遺跡公園	
3	海蔵	②先史時代の遺跡(弥生)	上野遺跡	2-①
4	羽津	②先史時代の遺跡(弥生)	山奥遺跡	
7	大矢知	②先史時代の遺跡(弥生)	久留倍遺跡、山奥遺跡	
8	八郷	②先史時代の遺跡(弥生)	菟上遺跡、西ヶ広遺跡	
11	三重	②先史時代の遺跡(弥生)	大谷遺跡	
16	常磐	②先史時代の遺跡(弥生)	平戸山遺跡	2-②
3	海蔵	③古墳文化	上野古墳群	
4	羽津	③古墳文化	志氏神社古墳、死人谷横穴墓	
7	大矢知	③古墳文化	久留倍古墳群	
8	八郷	①古墳文化	浄ヶ坊古墳群、八幡古墳、横穴墓	
9	下野	①古墳文化	広古墳群、持光寺山古墳群、鶯谷古墳群	
10	保々	②古墳文化	若宮古墳群、公事出古墳群、道具林古墳、筆ヶ崎古墳群	
11	三重	③古墳文化	御池古墳群、西ヶ谷古窯跡群、小杉大谷古窯	
15	神前	③古墳文化	大日山古墳群	
16	常磐	③古墳文化	大塚古墳	
18	小山田	③古墳文化	穴塚古墳群、大塚野古墳群、和田ヶ平古墳群、赤池古墳群	2-②
20	日永	③古墳文化	茶臼山古墳群	
22	内部	③古墳文化	北小松古墳群、西野古墳群、菅野古墳群	
23	河原田	③古墳文化	八幡塚古墳	

No	地区	歴史文化の特徴	主な文化財	関連
5	富田	⑦記紀神話の舞台	鳥出神社、ヤマトタケル	3-①
11	三重	①記紀神話の舞台	足洗池、ヤマトタケル	
22	内部	②記紀神話の舞台	ヤマトタケル、杖衝坂、血塚社、伊勢の采女	
4	羽津	②古代史の舞台	天武天皇・聖武天皇ゆかりの地	
6	富洲原	②古代史の舞台	聖武天皇社	
7	大矢知	②古代朝明郡の舞台	久留倍官衙遺跡、天武天皇迹太川御遷拝所跡、立阪神社獅子舞、耳常神社、鏡ヶ池、迹太川	
11	三重	②古代史の舞台	地名（三重）の由来、天武天皇ゆかりの地、浄蓮寺、遠保神社	
13	桜	③古代史の舞台	智積廃寺	
8	八郷	②古代の遺跡	西ヶ広遺跡、菟上遺跡	
9	下野	②古代の遺跡	中野山遺跡、北山遺跡	
10	保々	③古代の遺跡	公事出遺跡、小牧北遺跡、殖栗連墓(若宮古墳)	
12	県	⑤古代の遺跡	岡山古窯跡群	3-②
16	常磐	①古代の遺跡	宮の西遺跡、北中寺遺跡、小判田遺跡	
4	羽津	社寺	大膳寺跡、大谷瓦窯、浄恩寺、志で神社	
7	大矢知	古代の寺院	垂坂観音寺、元三大師旧跡、長倉神社、桜神社跡、宝性寺	
17	四郷	古代の寺院	塑造仏頭	
5	富田	②中世の城館	茂福城跡、富田城跡、木造阿弥陀如来像、伊勢平氏	
15	神前		伊勢平氏	
16	常磐		伊勢平氏、松本城跡	
1	中部	⑤赤堀三家	浜田城跡、兜鉢、建福寺	
4	羽津	⑤赤堀三家	羽津城跡	
16	常磐	③赤堀三家	赤堀城跡	
18	小山田	①矢田監物と寺社	安性寺、暁覚寺、光輪寺、遠生寺、矢田監物の墓、山田城跡	4-③
24	楠	①楠氏による統治	楠城跡および楠氏由来の文化財	
5	富田	②中世の城館	茂福城跡、富田城跡、木造阿弥陀如来像、伊勢平氏	
7	大矢知	③中世の城館	大矢知城跡、蒔田城跡	
8	八郷	③中世の城館	伊坂城跡、萱生城跡	
9	下野	中世の城館	下野城跡	
10	保々	⑤中世の城館	保々西城跡、市場城跡、中野城跡、保々の首塚	
11	三重	中世の城館	坂部城跡、東坂部城跡	
12	県	⑥中世の城館	平尾城跡	
14	川島	中世の城館	出城山城跡	
19	水沢	④中世の城跡	水沢城跡	
22	内部	④中世の城館	采女城跡	
17	四郷	②中世からの寺社と信仰文化	顕正寺、その他の寺社、仏像、伊勢安国寺跡、大念仏	4-④
20	日永		薬師堂	4-⑤
1	中部	③市	室町時代からの市、慈善橋	

No	地区	歴史文化の特徴	主な文化財	関連
1	中部	①東海道の四日市宿	歴史的建造物（町家）、代官所、永餅、本陣跡、清水家文書、思案橋、薬師寺山門、東海道四日市宿資料館、道標	5-①
7	大矢知	①忍藩の代官所	藩校興讓館跡、旧大矢知興讓小学校講堂、松並木	
19	水沢	菰野藩	楓谷	
1	中部	①東海道の四日市宿	歴史的建造物（町家）、代官所、永餅、本陣跡、清水家文書、思案橋、薬師寺山門、東海道四日市宿資料館、道標	5-②
2	橋北	②東海道	道標、常夜燈、嶋小のだんご、助郷	
3	海蔵	⑤東海道	道標、一里塚	
4	羽津	①東海道	森家住宅、道標、一本松	
5	富田	①東海道	間の宿、一里塚、道標、町並み	
7	大矢知	⑤東海道	宝性寺	
16	常磐	⑥東海道	道標、町家建築	
20	日永	①東海道	日永の追分、日永一里塚跡、名残の一本松、間の宿、日永うちわ、足袋、道標	
22	内部	①東海道	松並木跡、杖衝坂、松尾芭蕉、うつべ町かど博物館	
6	富洲原	⑤八風道	海運橋、回船業	
7	大矢知	④八風道	道標、常夜燈、お菓子屋、田村寺	
8	八郷	⑤八風道	連子のある家、道標	
9	下野	③八風道	道標	
10	保々	⑦八風道	道標、常夜燈	
1	中部	⑦菰野道	西町延命地蔵	
13	桜	⑤菰野道	道標	
14	川島	⑤菰野道	道標	
15	神前	⑤菰野道	道標	
16	常磐	⑦菰野道	道標、町家建築	
13	桜	⑥巡見道	道標	
18	小山田	⑧巡見道	道標	
19	水沢	⑤巡見道・巡礼道	道標	
20	日永	伊勢街道（参宮道）	追分	
23	河原田	①伊勢街道（参宮道）	道標、常夜燈	
21	塩浜	③参宮下街道	道標	
12	県	③人の往来	道標	
1	中部	②近代産業と四日市港	港湾施設、鉄道・土木構造物、倉庫群・運河、伊藤伝七別邸、稲葉三右衛門、末広橋梁、潮吹防波堤、コンビナート	6-①
6	富洲原	①近代化の先駆け	東洋紡、平田紡、上下水道施設、富洲原小学校講堂	
14	川島	⑦近代産業	川島紡績跡	
17	四郷	①近代産業発祥の地	醸造・紡績・製糸関係、旧四郷村役場	6-②
1	中部	⑧鉄道	JR関西本線・近鉄名古屋線・あすなろう鉄道、引込線	
2	橋北	④鉄道	JR関西本線	
21	塩浜	⑤鉄道	JR関西本線、引込線	
4	羽津	⑦鉄道	近鉄名古屋線	
5	富田	⑥鉄道	JR関西本線、近鉄名古屋線、三岐鉄道、JR富田駅、三岐鉄道株式会社本社社屋	
17	四郷	⑥鉄道	あすなろう鉄道	7-①
20	日永	⑧鉄道	あすなろう鉄道	
22	内部	⑦鉄道	あすなろう鉄道	
1	中部	⑧戦争遺跡	空襲慰霊碑	
16	常磐	⑧戦争遺跡	誓元寺奉安殿、松本道場	7-②
20	日永	⑥戦争遺跡	燃料廠疎開施設跡	
1	中部	③工場地帯（コンビナート）	工場建造物、夜景	
2	橋北	③工場地帯（コンビナート）	工場建造物、夜景、公害	
4	羽津	⑥工場地帯（コンビナート）	工場建造物、夜景	
20	日永	⑦工場地帯（コンビナート）	工場建造物、夜景	
21	塩浜	④工場地帯（コンビナート）	工場建造物、夜景、海軍燃料廠、公害	
6	富洲原	⑥伊勢湾台風被災	慰霊碑	7-③
23	河原田	③古来からの自然災害	鈴鹿川、内部川、災害の歴史	

No	地区	歴史文化の特徴	主な文化財	関連
2	橋北	①萬古焼の産地	四日市萬古焼、萬古神社、萬古まつり、人物（山中忠左衛門）	8-①
3	海蔵	①萬古焼の産地	人物（山中忠左衛門）、海蔵庵窯	
7	大矢知	⑦地場産業	素麺、高橋酒造	8-②
13	桜	⑦酒造りに代表される醸造文化	石川酒造、伊藤酒造	
13	桜	⑧地場産業	桜焼	
14	川島	⑥地場産業	丸彦酒造	
16	常磐	⑤地場産業	製菓、加藤翠松堂	
20	日永	⑤地場産業の技術	日永うちわ、足袋、伊勢蔵（醤油）	
24	楠	②地場産業（ものづくり）	宮崎本店（酒造）、はまぐり	8-③
5	富田	④港町と地場産業	漁業、製網、アミカン本社建築、提灯、東富田町の町並み	
6	富洲原	③漁業の歴史、関連産業（半農半漁）	魚網生産、水産物加工、地引網、いらこ、富田一色の町並み	
21	塩浜	②漁業と暮らし	漁業技術、塩づくり	
24	楠	②地場産業（ものづくり）	宮崎本店（酒造）、はまぐり	8-④
14	川島		茶業	
18	小山田	④農村の暮らしと農業を支える技術	茶業	
19	水沢	①お茶の栽培と暮らしの文化	冠山茶の木原、茶畑の風景、お諏訪おどり、太鼓踊り、辻久善	

No	地区	歴史文化の特徴	主な文化財	関連
5	富田	③多彩な祭礼行事	鯨船行事、石取祭、どんど、ガニ祭り、虫送り	9-①
8	八郷	④農村の暮らしの文化	旧平田家住宅、子ども相撲、亥の子、八郷汁など	
9	下野	⑤農村の暮らしの文化	子ども相撲	
10	保々	⑥農村の暮らしの文化	地藏盆、天春家文書	
11	三重	④暮らしと祭礼行事	大鏡餅神事、獅子舞、御鞆まつり、服部家住宅	
12	県	①農村の暮らしの文化	伝統食、獅子舞、報恩講、伝承・昔話	
14	川島	④農村の暮らしの文化	農家建築、算額、伊勢茶、タケノコ	
15	神前	④暮らしと祭礼行事	獅子舞、亥の子	
17	四郷	③農村の暮らしの文化	農家建築、除虫祭、獅子舞	
18	小山田	④農村の暮らしと農業を支える技術	獅子舞、ドンド祭、マンボ、ため池、水沢堂ヶ山野境紛争の判決文書	
19	水沢		水まつり、お諏訪おどり、太鼓踊り	
22	内部	⑥暮らしと祭礼行事	小古曾神社（粥試し神事）	
24	楠	③農村の暮らしの文化	岡田邸、用水路（ホタル）、芋泥棒	
1	中部	④祭礼・行事の民俗文化	四日市祭、鯨船行事、山車文化、大四日市祭	
3	海蔵	④信仰と祭礼行事	伊勢大神楽、獅子舞、奉社祭り	
5	富田	③多彩な祭礼行事	鯨船行事、石取祭、どんど、ガニ祭り、虫送り	
6	富洲原	④暮らしと祭礼行事	けんか祭り、石取祭	
7	大矢知	③多彩な祭礼行事	石取祭	
17	四郷	③多彩な祭礼行事	大念仏	
20	日永	③多彩な祭礼行事	つんつく踊り	
21	塩浜	①祭礼行事	鯨船行事、獅子舞、狐の嫁入り道中	
23	河原田	③多彩な祭礼行事	天王祭	
1	中部	④祭礼・行事の民俗文化	四日市祭、鯨船行事、山車文化、大四日市祭	9-③
2	橋北		獅子舞	
3	海蔵	④信仰と祭礼行事	伊勢大神楽、獅子舞、奉社祭り	
4	羽津		獅子舞	
5	富田	③多彩な祭礼行事	鯨船行事、石取祭、どんど、ガニ祭り、虫送り、（獅子舞）	
7	大矢知	③多彩な祭礼行事	石取祭、獅子舞	
10	保々	⑥農村の暮らしの文化	獅子舞、地藏盆、天春家文書	
11	三重	④暮らしと祭礼行事	大鏡餅神事、獅子舞、御鞆まつり、服部家住宅	
12	県	①農村の暮らしの文化	伝統食、獅子舞、報恩講、伝承・昔話	
13	桜	④暮らしと祭礼行事	獅子舞、椿岸神社獅子頭	
15	神前	④暮らしと祭礼行事	（獅子舞）、亥の子	
16	常磐		（獅子舞）	
17	四郷	③農村の暮らしの文化	農家建築、除虫祭、獅子舞	
18	小山田	④農村の暮らしと農業を支える技術	（獅子舞）、ドンド祭、マンボ、ため池、水沢堂ヶ山野境紛争の判決文書	
20	日永	④信仰と祭礼行事	つんつく踊り、茅の輪くぐり、東海道沿いの寺社、（獅子舞）	
21	塩浜	①祭礼行事	鯨船行事、獅子舞、狐の嫁入り道中	
22	内部	⑥暮らしと祭礼行事	小古曾神社（粥試し神事）、（獅子舞）	
23	河原田	②信仰と祭礼行事	天王祭、獅子舞、蟹薬師密蔵院	
24	楠	④暮らしと信仰、祭礼行事	鯨船行事、湯の花神事、獅子舞	
1	中部	④祭礼・行事の民俗文化	四日市祭、鯨船行事、山車文化、大四日市祭	9-④
5	富田	③多彩な祭礼行事	鯨船行事、石取祭、どんど、ガニ祭り、虫送り	
21	塩浜	①祭礼行事	鯨船行事、獅子舞、狐の嫁入り道中	
24	楠	④暮らしと信仰、祭礼行事	鯨船行事、湯の花神事、獅子舞	

No	地区	歴史文化の特徴	主な文化財	関連
7	大矢知	伝承にまつわる池泉・河川	鏡ヶ池（聖武天皇）、迹太川（壬申の乱）	10-①
11	三重		足洗池（ヤマトタケル）	
15	神前		和泉式部化粧の水（現存）	
17	四郷	湧水（伏流水の醸造利用）	醸造・紡績	10-②
7	大矢知		素麺、高橋酒造	
13	桜		石川酒造、伊藤酒造	
14	川島		丸彦酒造	
20	日永		伊勢蔵（醤油）	
24	楠		宮崎本店（酒造）	
1	中部		泗水の井戸（建福寺）	
11	三重ほか	自噴井戸、弘法井戸	10-②	
20	日永	追分の湧水（日永の追分）		
11	三重・	温泉、温泉跡		
12	県・			
13	桜・			
19	水沢			
14	川島	近代の水力利用	川島紡績跡	10-③
6	富洲原	近代の上下水道施設	上下水道施設	
7	大矢知		大矢知水源地（富洲原上水道施設）	
11	三重		生桑水源地	
4	大矢知	特色ある用水路	羽津用水	10-④
7	羽津			
8	八郷		伊坂ダム、山村ダム、善八水道	
13	桜		智積養水、三十三間筒	
15	神前		サイホン式水路	
18	小山田	マンボ、ため池、水沢堂ヶ山野境紛争の判決文書		
19	水沢	水に恵まれない土地の利用	茶畑、お諏訪おどり、太鼓踊り、辻久善、マンボ	

# 歴史文化の特徴と関連文化財群の設定

## 四日市市の歴史文化の特徴

## 地区ごとの歴史文化の特徴

## 関連文化財群

[大項目]

[小項目]

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24  
 中 橋 海 羽 富 富 大 八 下 保 三 川 神 常 四 小 水 日 塩 内 河  
 部 北 蔵 津 田 洲 矢 郷 野 々 重 島 前 磐 郷 山 沢 永 浜 部 原 楠

I 自然とともに生きる  
海、山、川の恵み

- I-① 東海湖と東海地方の固有の植物
- I-② 水辺に生息する希少な動植物
- I-③ 自然景観

II 遺跡が伝える  
人々の暮らし

- II-① 先史時代の人々の営みを伝える遺跡
- II-② 古墳に見る地域の情勢

III 古代史の舞台

- III-① 記紀神話の舞台
- III-② 朝明郡の郡家の成立と古代地方社会の発展

IV いまに伝わる市と  
武士の支配

- IV-① 伊勢平氏の活躍
- IV-② 赤堀三家による統治
- IV-③ 北勢四十八家による勢力争い
- IV-④ 伊勢安国寺由来の信仰
- IV-⑤ 「四日市」の起り

V 江戸の面影と街道の  
往来が生んだ文化

- V-① 幕府と大名による支配
- V-② 東海道と四日市宿の繁栄
- V-③ 縦横にめぐる街道の往来

VI 産業都市の礎

- VI-① 近代産業の発祥と四日市港の発展
- VI-② 鉄道の発達

VII 戦後の都市形成

- VII-① 戦災を伝える戦争遺跡と復興都市計画
- VII-② 港の工場地帯（コンビナート）
- VII-③ 伝える災害の記憶

VIII 地域に根差す産業

- VIII-① 萬古焼
- VIII-② 自然環境と人の交流が育んだ地場産業
- VIII-③ 漁業と産業
- VIII-④ 茶業

IX 暮らしに息づく  
祭礼文化

- IX-① 農村の暮らしを支える文化
- IX-② 祭礼行事
- IX-③ 獅子舞
- IX-④ 鯨船行事

X 水とともに築かれた  
歴史文化

- X-① 伝承にまつわる水（池泉・河川）
- X-② 清らかな水が育んだ醸造文化と暮らし
- X-③ 近代の利水の歴史
- X-④ 用水整備による安定的農業の実現

1 丘陵地に生える  
湿地の植物

2 朝明郡の郡家の成立と  
古代の地方社会の発展

3 中世の城郭「室町・戦国時代  
の赤堀三家と北勢四十八家の  
胎動、信長侵攻の火勢」

4 近世東海道と四日市宿

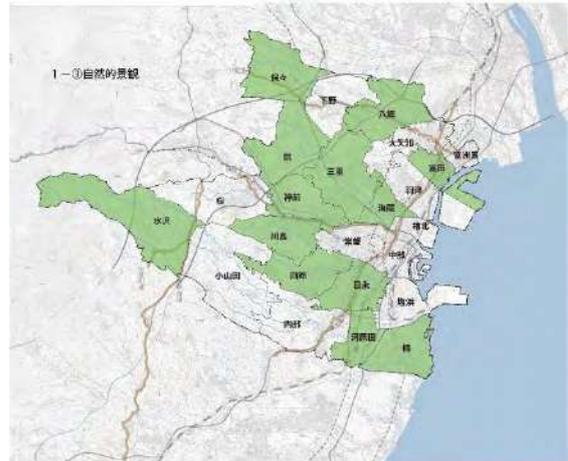
5 産業都市四日市の礎  
となった近代産業

6 奇祭！鯨船行事



### ③自然景観

市内には、宮妻峡・もみじ谷に代表される景勝地や地形を活かした忘帰處、河川や河岸沿いに整備された桜並木などの自然景観が見られます。それぞれ、歴史的な物語を有しており、翡翠谷のように場所にまつわる伝承もあります。近年になると、ダムなどの人工物と自然とが織りなす新たな景観が作り出されています。



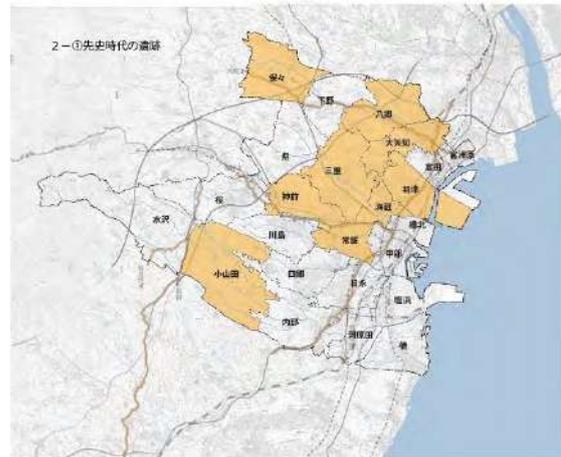
## II 遺跡が伝える人々の暮らし

市域では、先史時代より人々の暮らしがみられ、多くの遺跡が発掘されています。なお、遺跡は市域の西側に偏り、海岸線が現在より内側に入り込んでいたこともあって、海岸側には遺跡は少ないです。

### ①先史時代の人々の営みを伝える遺跡

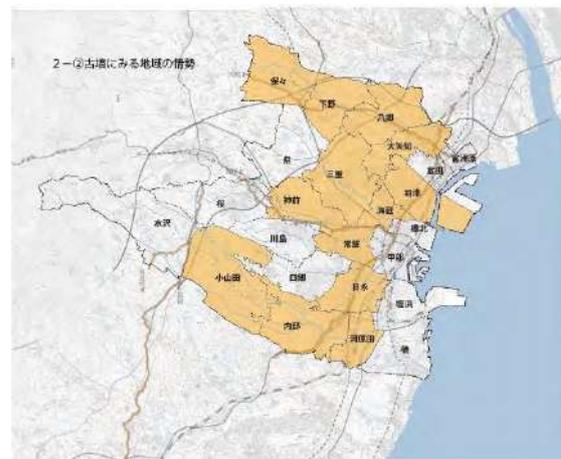
旧石器・縄文遺跡は、概ね水沢地区を中心とする内部川扇状地面に集中して立地しています。後期旧石器時代のナイフ形石器群が、南西部の内部川と鎌谷川に挟まれた扇状地に立地する内戸谷B遺跡や宮蔵遺跡・宮ノ上遺跡・西野遺跡などで確認されています。縄文遺跡は約40カ所確認され、縄文時代創成期の有舌尖頭器が出土しています。

弥生時代は、市域のほぼ全域にわたって、低地を望む丘陵上に集落が営まれるようになりました。弥生時代の遺跡は72カ所に上っています。銅鐸が出土しており、弥生時代中期に銅鐸祭祀が行われていたことを示しています。



### ②古墳にみる地域の情勢

市内には、200基にも及ぶ古墳があります。市内唯一の前方後円墳としては、4世紀後半の志氏神社古墳があります。5世紀の古墳は、市域の北部である朝明川の流域に分布しています。5世紀末から6世紀にかけ、市域のほぼ全域に分布するようになります。6世紀から7世紀にかけては、横穴式石室をもつ古墳群や横穴墓群が多く造られます。

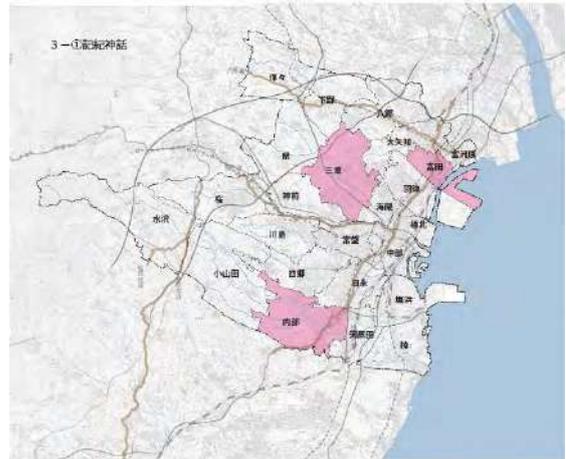


### Ⅲ 古代史の舞台

古くはヤマトタケルの伝説が残ります。東国へつながる要衝となり、壬申の乱等で、四日市地域の古代の姿を垣間見ることができます。8～10世紀には、地域へ仏教文化の広がりが見られ、古代の地方社会が形成されてきます。

#### ①記紀神話の舞台

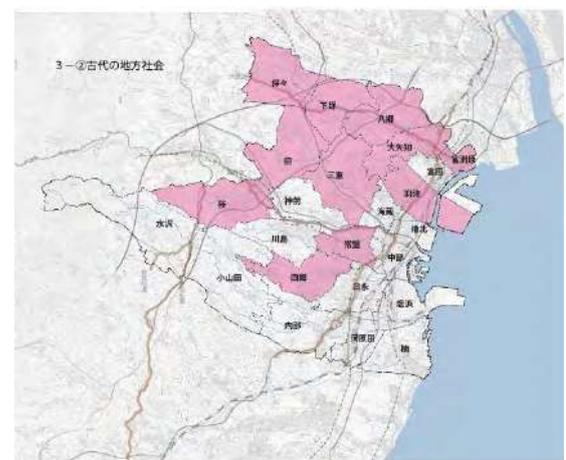
ヤマトタケルが東国を平定し、帰途につく途中、病にとりつかれ、伊勢国に入りました。三重郡采女村あたりまで来たとき、急坂を杖をついてようやく登れたので、その坂を「杖衝坂」と言ったということです。坂の上には、御血塚社があります。衰弱した身体で坂の上に辿り着いたヤマトタケルが、足下を見ると出血していたので、この場所で血を洗い落として止血したとされます。さらに、少し進んだとき、「吾か足三重の勾なして、いたく疲れたり」と言い、その地を「三重」と言うようになったとも伝えられており、三重郡の由来といわれています。能褒野（現在の亀山市内）にたどり着いたところで亡くなったので御陵をつくると、ヤマトタケルは、大きな白鳥と化して、大和をめざして飛び去っていったということです。



富田という地名は、白鳥になって「とんだ」から来ているといわれています。富田の鳥出神社、富田一色町の飛鳥神社は、どちらも鳥が出る、鳥が飛ぶ、というので、このヤマトタケルノから来ているといわれています。

#### ②朝明郡の郡家の成立と古代地方社会の発展

久留倍官衙遺跡は、朝明郡の役所の遺跡であり、古代律令国家の地方支配体制を具体的に示すものとしてきわめて重要です。天武天皇元（672）年、壬申の乱の際に大海人皇子が朝明郡に立ち寄ったといわれています。また、天平12（740）年、聖武天皇は伊勢に行幸した際に、朝明郡に泊まったといわれ、その際に詠まれたという歌が万葉集にあります。



智積廃寺は市内最古の仏教寺院遺跡で、壬申の乱の功績の証として、天武政権からの援助で建立されたと考えられます。その後、仏教文化が地域に広がるとともに、古代の地方社会が発展していきました。

#### IV いまに伝わる市と武士の支配

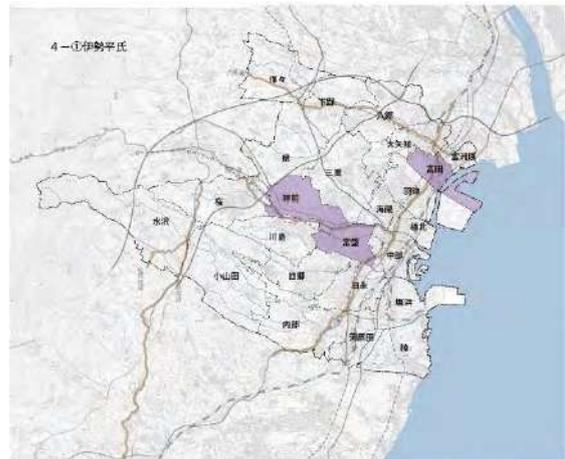
平安から鎌倉時代には伊勢平氏の活躍の舞台でしたが、南北朝、室町時代になると、様々な武将が入り交じって城を築きました。市内には、38カ所の城館が存在したといわれています。京都や伊勢など様々な地域へとつながる道があったこの地は、戦略上重要な場所でした。織田信長の北伊勢侵攻によりほとんどが滅ぼされ、あるいは軍門に下りました。

##### ①伊勢平氏の活躍

承平5（935）年の平将門の乱の後、将門を討った平貞盛らが伊勢国に移り住み、一族が伊勢国に定着しました。これが「伊勢平氏」の起こりです。平安から鎌倉時代には伊勢平氏の活躍の舞台でもありました。

富田城の前身は、元久元（1204）年の三日平氏の乱の際に伊勢平氏の一党である進士三郎基度が、富田六郷の東西富田の地に築いた居館とされています。

また、源義経の従者、伊勢三郎義盛は伊勢国三重郡の出身といわれ、義経が兄頼朝に追われ九州へ向かう途中、鈴鹿山で自刃したと伝えられ、川島の西福寺境内にその墓があるといわれています。



##### ②赤堀三家による統治

応永年間（1394～1428）、田原孫太郎景信が上野国赤堀庄から移り赤堀城を築きました。景信は、長男の盛宗を羽津に、次男の秀宗を赤堀に、そして三男の忠秀を浜田に配しました。文明年間に三家に別れ、赤堀三家は、北勢地方で勢力を誇りました。





## ⑤「四日市」の起り

平安時代以降、天然の良港によって回船業が発達し、京都やその周辺での生産物を尾張より東の方へ販売するために中継拠点としての役割を果たします。

室町時代には、田原美作守忠秀は、領内の農業や手工業を盛んにし、商品の流通を図るため、東海道を海岸に沿うように移して、交通の便を良くするとともに、その北寄りに十字の大道を作り、市を形成しました。文明5（1473）年の外宮庁宣案には「四ヶ市庭浦」の地名が出てきています。室町時代後期には、四日市と称して毎月4日・14日・24日の3回定期市が始まり、これが四日市の名の起りといわれています。こうした四日市の発展には、海陸両路の交通の便が良いなど、四日市の地の利が大きく影響していると考えられます。



## V 江戸の面影と街道の往来が生んだ文化

江戸時代、市場町・湊町の四日市に「宿場町」「陣屋・代官所の町」が加わり、北勢の行政・商業の中心地として知られるようになります。

東海道の宿場町となり、参勤交代や伊勢参宮など、人・物の往来がますます活発になりました。また、海上交通においても天然の良港を拠点に多くの回船が行き交い、陸海交通の要衝、商業のまちとして大いに繁栄しました。

### ①幕府と大名による支配

本能寺の変の時に、和泉国（大阪府）の堺にいた徳川家康が、伊賀を越え、三河国に帰るためにたどりついたところが四日市の浜辺だといわれています。橋の上で、陸路にしようか海路にしようか考えを巡らせていたため、その橋は「思案橋」と呼ばれています。家康自身が交通の要衝であると認めたため、江戸幕府が開かれると、四日市は天領となり、代官が配置されました。

文政6（1823）年、桑名藩松平氏は、武蔵国忍への転封を命じられましたが、員弁郡・朝明郡・三重郡の一部地域3万7千石はそのまま残され、忍藩の飛地となりました。忍藩は、大矢知村に陣屋を構えました。

また、江戸時代の水沢は、菰野藩に属しており藩主土方氏が景勝の地として保全に尽力したといわれています。藩主が領内巡視の際、水沢の常願寺に立ち寄り、この寺でお茶を飲み、この村の茶業を奨励したともいわれています。



### ②東海道と四日市宿の繁栄

東海道五十三次のうち43番目の宿として栄えました。本陣や宿駅も設置されました。本陣2軒、脇本陣1軒、旅籠98軒がありました。「四日市宿本陣清水家文書」は、四日市宿の一番本陣を務めた清水太兵衛家に関わる文書群で、四日市陣屋は、江戸幕府が天領である四日市を管理するために設置した代官所です。

同時に、四日市湊は、江戸と京との水陸連絡地点として重要な商業港となり、北勢の商業の中心地となりました。

現在も、街道沿いには、歴史的建造物（町家）の町並みが残り、日永一里塚跡など、往時の人々の往来を伝える文化財が数多く点在しています。



### ③縦横にめぐる街道の往来

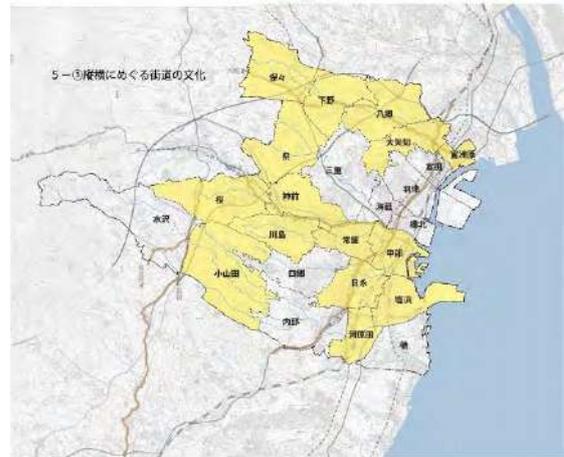
いくつもの旧街道が縦横にめぐっており、道沿いには道標や常夜燈などの文化財が多く残っています。

伊勢街道・参宮下街道は、伊勢神宮へつながります。

また、巡見道とは、江戸時代に幕府の巡見使の通った道のことです。

八風道は、鈴鹿山脈の八風峠を越え、現在の滋賀県に続き、東海道と中山道の短絡路となっていました。

菰野道は、東海道四日市宿と菰野一万石の城下を往来する道で、城下町や湯の山を訪れる旅人をはじめ、参勤交代で江戸に向かう菰野藩主も通りました。



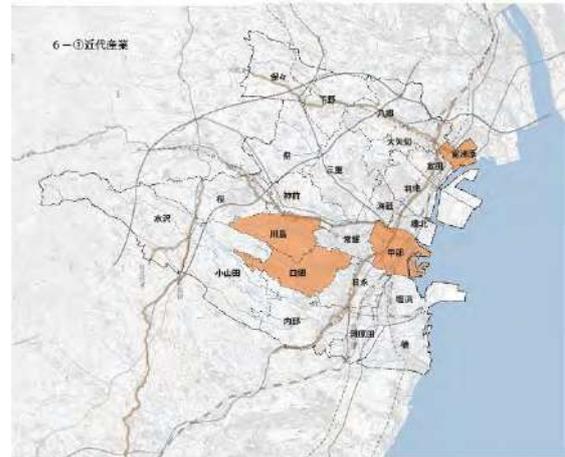
## VI 産業都市の礎

近代にはいると、近代産業がおこり、四日市港の発展とともに、商業のまちから産業都市へと発展していきます。

### ①近代産業の発祥と四日市港の発展

幕末から近代にかけて、四郷地区では、製糸、製茶、醸造、その他関連産業が盛んになり、本市の近代産業発祥の地として栄えました。

伊藤小左衛門や伊藤伝七は、工場の機械化や海外への輸出など産業の近代化という時代の流れを読み取り、渋沢栄一の支援を得るなどして事業を拡大し、起こしたいくつかの企業は現代にも継承されています。また、学校の創設や役場建設の寄付などでも地域社会に大きく貢献したことから、今でも住民に敬われる存在となっています。



四郷の産業は、四日市港とともに発展しました。明治6（1873）年、稲葉三右衛門らは四日市港築造工事に着手し、明治32（1899）年に伊勢湾で最初の開港場に指定されると、紡績をはじめ、製糸、漁網、製陶など、さまざまな産業の輸出拠点となり、近代産業の発展を支えました。

### ②鉄道の発達

明治23（1890）年、市街地東縁に関西鉄道（現・JR 関西本線）の四日市駅が開業しました。それまでの町の中心は、宿場町として東海道沿いでしたが、鉄道の開業により次第に駅と諏訪神社を結ぶ地域へと移っていき、発展していきました。

大正元（1912）年には、商工業が盛んであった四郷村と四日市市内とを結ぶために、三重軌道が今の四日市あすなろう鉄道八王子線である八王子まで開業しました。その支線（鈴鹿支線）として、大正11（1922）年に日永から内部まで延伸され、現在のあすなろう鉄道内部線も開通しました。



大正13（1924）年に伊勢電気鉄道（後の近鉄名古屋線）津 - 四日市間が開業、関西鉄道と平行する形で現在のJR四日市駅前へ乗り入れました。

## Ⅶ 戦後の都市形成

海軍施設や軍事工場が立地していた本市は、第二次世界大戦で大きな被害を受けました。多くの歴史文化が失われることになりましたが、それを乗り越え都市を形成してきました。

### ①戦災を伝える戦争遺跡と復興都市計画

昭和20（1945）年6月18日に四日市空襲では、大きな被害を受けました。当時の市域の35%にあたる3.18㎢が被災し、多くの寺社、歴史的施設も焼失しました。臨海部に立地する第二海軍燃料廠（昭和16年操業）と周辺の軍需工場が攻撃目標でした。鶴の森公園内には四日市空襲殉難碑があります。

本市では、戦災復興都市計画を実施、計画は壮大なもので、戦災で廃墟となった都市の復興を行いました。中心部では、現在の近鉄四日市駅とJR四日市駅を結ぶ大通りや商業地区、公園などが整備されました。

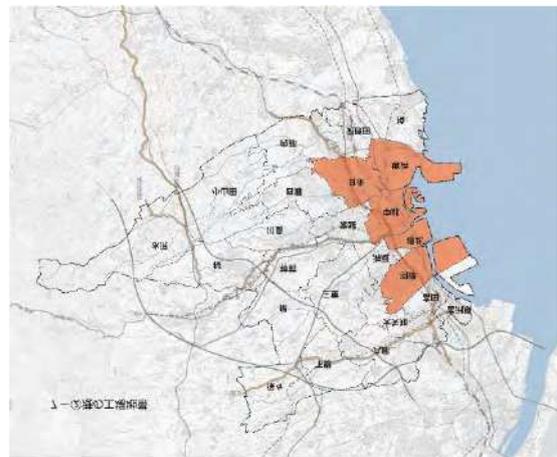


### ②港の工場地帯（コンビナート）

第二次世界大戦後、工業都市のプランが描かれ、市では積極的な工場誘致政策が行われました。昭和34（1959）年に、海軍燃料廠の跡地に日本で最初の大規模な石油化学コンビナートが塩浜地区に誕生したのを端緒として、午起地区、霞ヶ浦地区の水面を埋め立て、それぞれ第2、第3コンビナートが稼働しました。

これらの石油化学工場は高度経済成長を歩み出した日本経済の象徴ではありましたが、排出された硫黄酸化物による大気汚染や水質汚濁、悪臭などの大きな公害が発生しました。

現在は、環境が改善され、産業の発展と環境保全を両立したまちづくりへの取り組みを行っています。また、美しい工場夜景としてクルーズ船が遊覧するなど、観光資源としても活用されています。



### ③伝える災害の記憶

昭和 34（1959）年 9 月 26 日に上陸した伊勢湾台風は、本市に大きな被害をもたらしました。富田一色海浜緑地公園内には伊勢湾台風殉難慰霊碑が建立され、毎年、慰霊献花式が行われています。

また、水が豊かな本市は水害との戦いの歴史が繰り返されてきました。河原田地区では、万治 2（1659）年の内部川、鈴鹿川の大洪水により、川沿いの村が大きな被害を受け、村の場所を移したと伝えられています。



## VIII 地域に根ざす産業

市内では、それぞれの地区で地域に根ざした地場産業が生まれ、東海道、四日市港を中心とした往来・流通を通して、発展してきました。

### ①萬古焼

萬古焼は、江戸時代中期に桑名の豪商・沼波弄山によって始まりました。末永村の村役だった山中忠左衛門は、東阿倉川の唯福寺で20年の研究の末、明治6（1873）年に陶法を確立させ、村人に道具と陶土を与えて指導し陶工を育成しました。

四日市港や鉄道の整備に伴い、萬古焼は国内だけでなく、輸出も盛んに行われ地場産業としての基盤が築かれました。昭和54（1979）年、「四日市萬古焼」は当時の通商産業大臣から伝統的工芸品として指定されています。

毎年、5月の第2土日には、「四日市萬古まつり」が開催され、全国からたくさんの方が集まります。

港があり、燃料である石炭を入手しやすかったこと、貿易港として流通に適していたこともあって、全国有数の陶磁器の産地として発展を遂げました。



### ②自然環境と人の交流が育んだ地場産業

本市の気候や豊かな水を背景に、また街道を行き交う人々との交流を活かして、地場産業が生まれ発展してきました。

大矢知地区では、鈴鹿おろしと朝明川の清流という気候と風土に恵まれ、かつ豊富な小麦を近隣地域から調達できたことから、江戸時代末期から素麺作りが盛んに行われています。

江戸時代、農閑期に農家の人々が副業として作り始めた日永うちわは、お伊勢詣りの土産物として好評を博していました。日永は東海道と伊勢街道の分岐点であり、1日に往来する人の数は多い時で1万人にのぼったといわれ、茶屋や旅籠が軒を連ねて賑わう中、「日永うちわ」・「なが餅」・「日永足袋」は日永の3大名物と呼ばれました。

また、常磐地区にある製菓業の加藤翠松堂は、室町時代末期の1570年に創業しました。江戸時代には、時の関白二条家より直参調薬所としてのお墨付きをもらい、「二条殿御薬所」として宮中をはじめ、全国的に秘伝の民間薬や漢方薬を販売していました。



### ③漁業と産業

海岸部では漁村が形成され、明治期以降、漁業技術が発展してきました。近海での底引き網や船引き網漁業が中心で、ヨシエビ・ガザミ・イワシ・コウナゴなどが水揚げされています。楠地区では、海苔の養殖とハマグリ蓄養が盛んです。特にハマグリ蓄養は国内のおよそ7割を取り扱っていて、楠漁港は取り扱い日本一です。

漁業を背景に魚網製造は江戸末期から富田、富洲原地区を中心として発達してきました。現在も、日本の水産業を支える魚網生産の拠点となっています。また、磯津、天カ須賀では水産加工も盛んです。



### ④茶業

水沢、小山田、川島では茶畑が広がり、伊勢茶の栽培が行われています。土地の水はけがよいこと、雨量が豊富で温暖な気候であることなどお茶づくりに適した気候・土地です。

水沢のお茶は、飯盛山浄林寺（現・一乗寺）の住職である住持某が、空海が唐から帰国した際に持っていた茶の実を雲母峰の南側にある冠山茶ノ木原に植えたことが始まりといわれています。

江戸時代にお茶の栽培は減少しますが、江戸後期に常願寺の住職、中川教宏によって再興しました。

教宏は宇治の茶業を見て帰村し、まず水沢三本松の大畑に茶園を作ります。さらに宇治から良質の茶の実を持ち帰って植栽し、茶師を招いて技術を開発、普及させることによって水沢の茶業の振興に努めました。



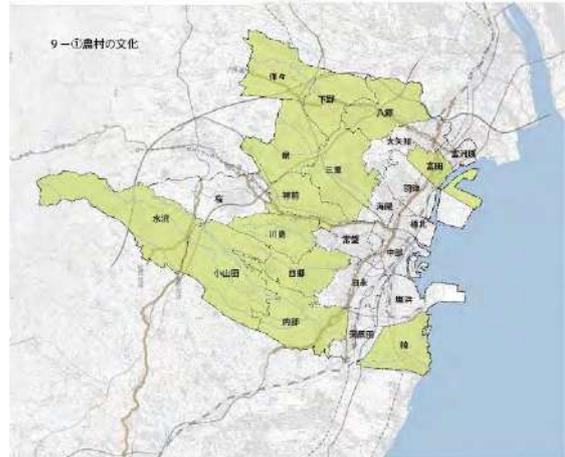
## Ⅸ 暮らしに息づく祭礼文化

暮らしの中で、信仰にもとづき多様な祭礼文化が生まれ、受け継がれてきました。中には、地域内外から多くの人を訪れる祭礼行事へとつながるものも見られます。

### ①農村の暮らしを支える文化

農村では、日常の暮らしのなかの食文化や、一年間のサイクルをつくる年中行事、一生の中の人生儀礼などが行われ、人々の暮らしを支えるとともに、地域のつながりを支えてきました。

八郷汁などの郷土食、正月行事である大鏡餅神事や粥試し神事、害虫駆除・五穀豊穡を願う虫送り、地藏盆などの盆行事、亥の子など現在にも継承されているものもあります。



### ②祭礼行事

諏訪神社の例祭は、からくり山車が出されています。山車は町場である中心部のほか、日永、馳出など、街道沿いのムラを中心としてありました。雨乞いを願う太鼓踊りは、水沢地区に伝えられています。桑名市で発達した石取祭車は、明治時代以降、桑名が取車を新造すると、その古車を買求め広がっていききました。市内でも明治期以降実施されています。念仏行事としては、東日野・西日野に伝わる大念仏があります。

大四日市まつりは、昭和 39 (1964) 年から始まる市民祭であり、「郷土の文化財と伝統芸能」と題して市内各地の祭礼行事を紹介しています。



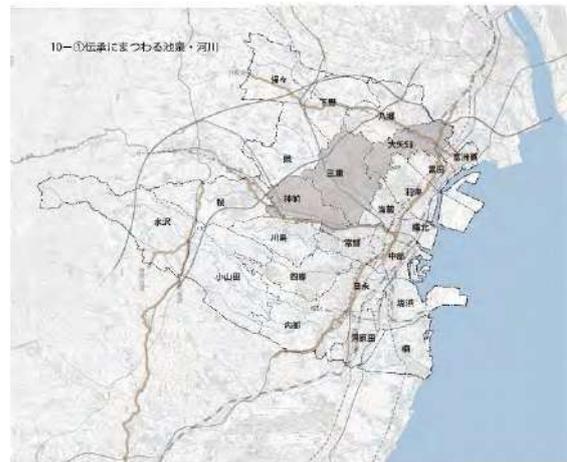


## X 水とともに築かれた歴史文化

本市は豊かな水を利用して、人々の暮らしや産業に恵みをもたらしてきました。その一方、人の生命や財産を守る治水の歴史もあるなど、様々な水との関わり方をしてきました。

### ①伝承にまつわる水（池泉・河川）

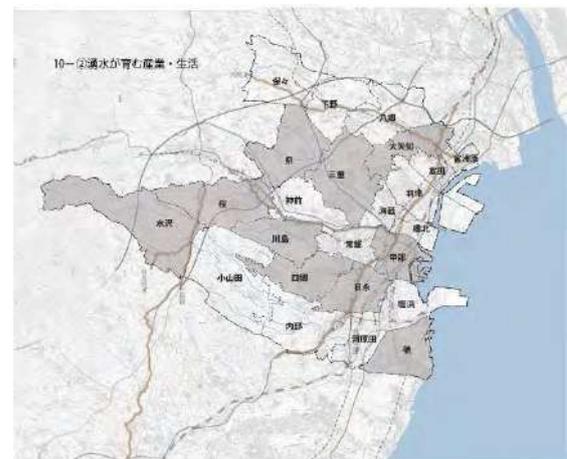
市内には、伝承が伝えられる水辺が多くあります。三重地区のヤマトタケル足洗池、大矢知地区の聖武天皇鏡ヶ池跡、神前地区の和泉式部化粧の水のほか、弘法井戸があります。



### ②清らかな水が育んだ醸造文化と暮らし

本市の酒造りは、古くは奈良時代から造られていた記録も残っています。「伊勢米」と呼ばれる全国の米相場を左右したほど良質な米の産地であったことに加え、清らかで水量豊富な伏流水が鈴鹿山脈から流れ込み、冬の鈴鹿おろしと呼ばれる寒風が山を吹き抜けたことにより、地酒が造られてきました。味噌・醤油などの醸造も行われ、全国的に流通するものもあります。

また、良質の地下水に恵まれていることにより、水質が良く水量も豊かな泗水の井戸がありました。現在も水道水源の多くが、市内を流れる各河川の流域地下水を利用しています。



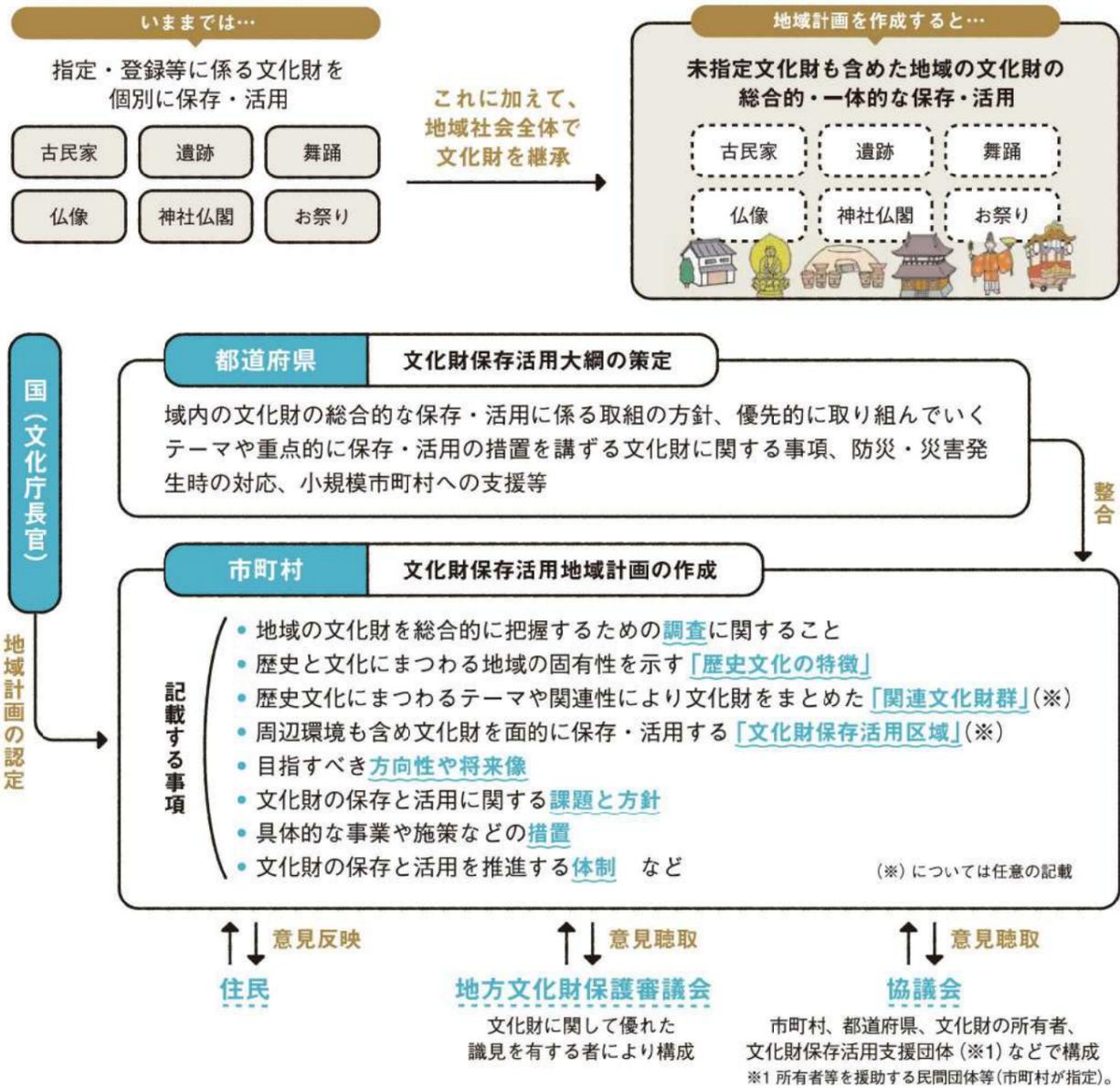




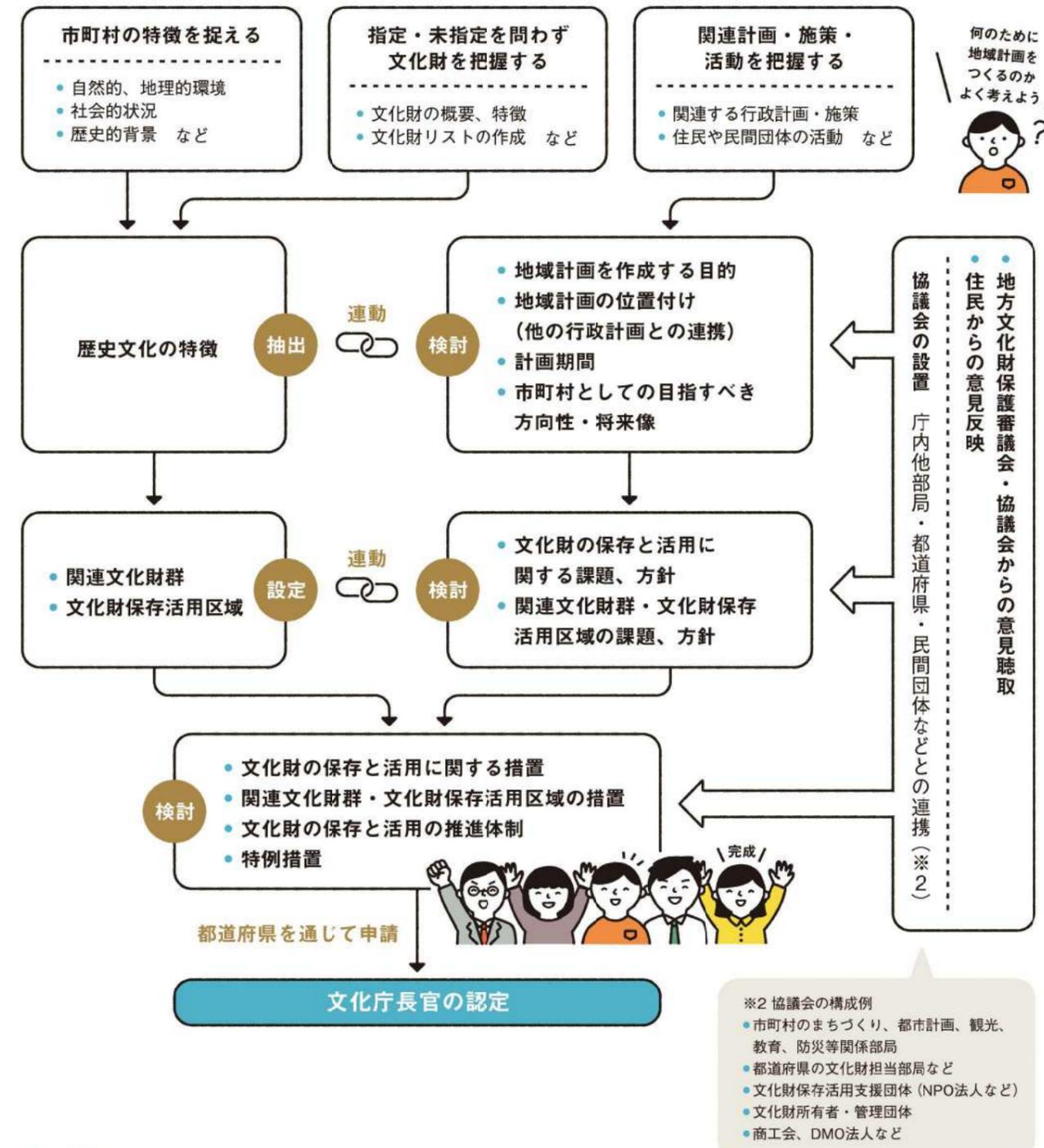
# 01. 文化財保存活用地域計画とは？

文化財保存活用地域計画は、文化財保護法に位置付けられた市町村における文化財の保存と活用に関する総合的な法定計画であり、市町村の総合計画の下に体系づけられるものです。地域の歴史や文化にまつわるコンテキストに沿って多様な文化財を俯瞰し、総合的・一体的に保存・活用することにより、地域の特徴をいかした地域振興に資するとともに、確実な文化財の継承につなげるものです。文化財保護行政の中・長期的な基本方針を定めるマスタープランと、短期的に実施する具体的な事業を記載するアクションプランとしての両方の役割を担います。

この計画を作成・実施することにより、住民・民間団体・文化財部局・庁内関係部局などが地域総がかりで文化財を守り、いかし、伝える体制の構築を図り、文化財の存続につなげていくことが期待されています。



# 02. 文化財保存活用地域計画 作成の流れ



# 03. 認定の基準

文化庁長官による認定には次に掲げる要件を満たしていることが必要です。

- 1 文化財保存活用地域計画の実施が当該市町村の区域における文化財の保存及び活用に寄与するものであると認められること
- 2 円滑かつ確実に実施されると見込まれるものであること
- 3 文化財保存活用大綱が定められているときには、当該大綱に照らし適切なものであること

**認定を受けた場合の特例措置**

- 国の文化財登録原簿への登録の提案
- ボトムアップでの未指定文化財の保護の推進
- 町村への一部事務の権限移譲
- 認定町村における円滑な計画の実施

**認定市町村が感じた地域計画作成のメリット**

- 1 文化財保護におけるビジョンの共有
- 2 中・長期的な方針や具体的な事業の可視化による計画的な行政運営
- 3 文化財保護行政への他部局・上層部の理解促進
- 4 地域計画作成時の連携体制が事業計画の推進に寄与
- 5 住民、関係団体、庁内各課、他地域などとの連携強化
- 6 作成に伴う調査での文化財及び類型を超えた文化的所産の把握
- 7 関連文化財群の設定による地域住民の文化財への興味喚起と交流活性化
- 8 補助率加算などの国庫補助事業における優遇

地域計画認定市町村へのアンケート(2020年10月)より

# 04. 文化財を総合的・一体的に把握する方法

## —歴史文化、関連文化財群、文化財保存活用区域の考え方—

歴史文化の特徴に基づき関連文化財群や文化財保存活用区域を設定することによって、域内に散在している文化財を俯瞰した保存と活用のプランニングが可能になります。歴史的・文化的・地域的な関連性やテーマによりまとまりとして捉えた文化財群、文化財が集積しているエリアとその周辺環境を面的に捉えた区域を設定して、歴史文化をいかした文化財の総合的・一体的な保存と活用につなげましょう。

### 歴史文化とは

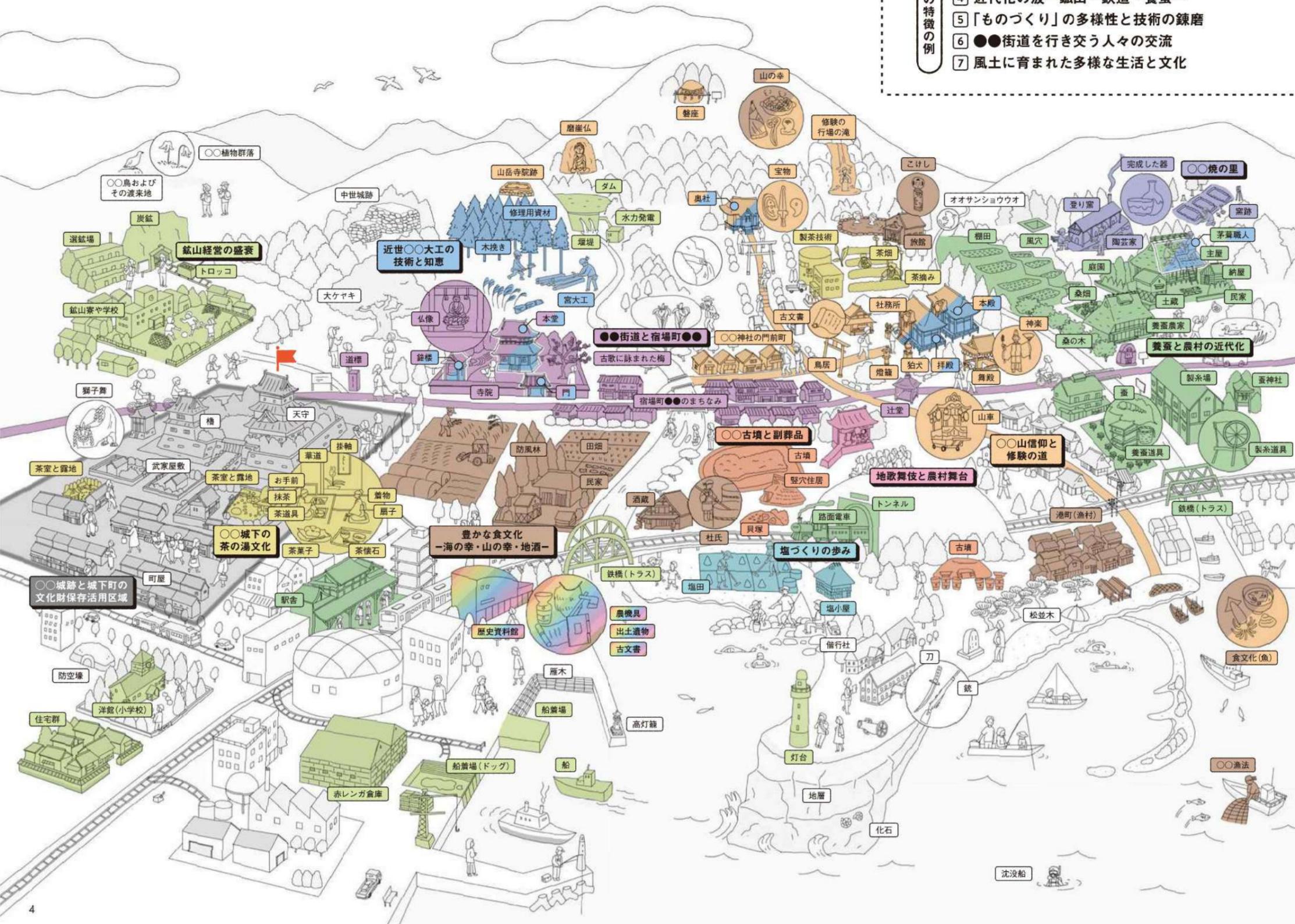
地域に固有の風土の下、先人によって生み育まれ、時には変容しながら現代まで伝えられてきた知恵・経験・活動等の成果及びそれが存在する環境を総合的に把握した概念。地域の歴史や文化にまつわるコンテキスト。歴史文化の特徴は、地域らしさ、地域の特徴をあらわす。

- 歴史文化の特徴の例
- 1 ○○国の繁栄
  - 2 ●●信仰により特徴付けられる信仰の固有性
  - 3 ●●藩により形成された地域の骨格と文化
  - 4 近代化の波—鉱山・鉄道・養蚕—
  - 5 「ものづくり」の多様性と技術の錬磨
  - 6 ●●街道を行き交う人々の交流
  - 7 風土に育まれた多様な生活と文化

### 関連文化財群とは

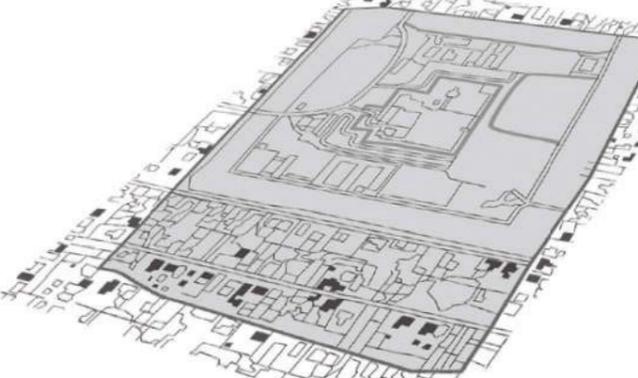
指定・未指定に関わらず多種多様な有形・無形の文化財を、歴史文化に基づく関連性、テーマ、ストーリーによって一定のまとまりとして捉えたもの。群を構成する複数の文化財を総合的・一体的に保存・活用するための枠組。まとまりを持って扱うことで、未指定文化財についても構成要素としての価値付けが可能となり、また、相互に結びついた文化財の多面的な価値・魅力を明らかにすることが出来る。

- 関連文化財群の例
- 1 ○○国の繁栄
    - 1-1 ○○古墳と副葬品
  - 2 ●●信仰により特徴付けられる信仰の固有性
    - 2-1 ○○山信仰と修験の道
  - 3 ●●藩により形成された地域の骨格と文化
    - 3-1 ○○城下の茶の湯文化
  - 4 近代化の波—鉱山・鉄道—
    - 4-1 鉱山経営の盛衰
    - 4-2 養蚕と農村の近代化
  - 5 「ものづくり」の多様性と技術の錬磨
    - 5-1 塩づくりの歩み
    - 5-2 近世○○大工の技術と知恵
    - 5-3 ○○焼の里
  - 6 ●●街道を行き交う人々の交流
    - 6-1 ●●街道と宿場町●●
  - 7 風土に育まれた多様な生活と文化
    - 7-1 地歌舞伎と農村舞台
    - 7-2 豊かな食文化—海の幸・山の幸・地酒—



### 文化財保存活用区域とは ▶ このマークの範囲

文化財が特定の範囲に集積している場合に、当該文化財(群)をその周辺環境も含めて面的に保存・活用するために設定するもの。域内の地区特性や歴史文化に応じて市町村が独自に設定する戦略的な計画区域。多様な文化財が集中する区域を設定して保存・活用を図ることで、魅力的な空間の創出につながることを期待される。



[例]○○城跡と城下町の文化財保存活用区域

# 05. 文化財の総合的・一体的な保存と活用の取組

都道府県の文化財保存活用大綱や市町村の総合計画などを勘案し、歴史文化や地域の実状を踏まえた上で文化財保護行政としての将来像・方向性を掲げましょう。その実現には、文化財の保存と活用に関する課題を捉え、文化財を総合的・一体的に把握する方法も用いながら、住民や民間団体、関係部局などと連携をはかり、解決策となる中・長期的な方針をたてる必要があります。その上で、計画期間内に実施していく措置の具体的な内容を記載します。措置については、円滑かつ確実な実施のため主体やスケジュールの明示が求められます。また、措置数が多い場合、重点事業を設定するなど優先順位をつけることも有効です。

- 凡例
- 内は主体
  - ☒文化財保護部局
  - ☒行政他部局
  - ☒文化財所有者
  - ☒住民
  - ☒民間団体
  - ☒歴史博物館
  - ☒大学

- 域内全体を対象に実施する措置**
- 文化財保護指導委員制度の創設 ☒
  - 文化財保存活用支援団体制度の創設 ☒
  - 古文書の所在調査 ☒(歴博)☒(大)
  - 文化財ハザードマップの作成 ☒(他)
  - 文化財防災マニュアルの作成 ☒(他)
  - 文化財データベースの作成、HP・アプリの開発 ☒
  - お宝掘り起こし住民ワークショップ ☒(他)
  - 地域遺産制度の創設 ☒(他)
  - エコミュージアム構想の検討 ☒(歴博)☒(大)
  - 限界集落における文化財の総合的記録 ☒
  - 域内回遊を促進する交通施策検討 ☒(大)
  - オーバーツーリズム緩和施策の検討 ☒(他)☒(大)
  - 地名の由来を活かした事業の検討 ☒(他)

- 5-2 近世〇〇大工の技術と知恵**
- 【方針】**  
近世〇〇大工の技術を伝える歴史的建造物の保存をはかるために、文化財保存のための種々の技術の継承と原材料の確保に取り組む。また、伝統技術の情報発信と普及をすすめる。
- 【措置】**
- 32 文化財を保存するために必要な技術・材料の調査 ☒(大)
  - 33 大径材確保のための植樹 ☒(他)
  - 34 檜皮採取林の保全 ☒(他)
  - 35 伝統木工技術の後継者育成 ☒
  - 36 大工の技術体験イベント ☒
  - 37 〇〇寺鐘樓の解体修理 ☒
  - 38 大工道具製作技術保持者への支援 ☒
  - 39 伝統技術保持者への顕彰制度の創設 ☒
  - 40 左官壁と畳の振興 ☒(他)

- 3 ●●城跡と城下町の文化財保存活用区域**
- 【方針】**  
●●城跡及びその周辺の歴史的なまちなみの整備とともに伝統的な生活文化の振興をはかり、それらを活かして観光の促進につなげる。
- 【措置】**
- A 石垣の整備 ☒
  - B 馬場の整備 ☒(他)
  - C 天守閣資料館の展示更新 ☒
  - D 歴史的建造物の調査と修理助成 ☒
  - E 町家の分散型ホテルへの改修 ☒
  - F 土蔵をカフェに改修 ☒
  - G 景観規制 ☒
  - H 無電柱化と道路美装化、歩道整備 ☒
  - I 屋外広告物規制 ☒
  - J トイレ洋式化事業 ☒
  - K 〇〇家の茶室と露地の整備 ☒
  - L 〇〇家の歴史資料の整理と調査 ☒
  - M 着付け教室の開催 ☒
  - N 懐石料理教室の開催 ☒
  - O 茶事の開催 ☒
  - P 獅子舞の記録作成 ☒
  - Q 城下町の武家文化体験(リビングストーリー) ☒(他)
  - R サインの多言語化 ☒
  - S DMOと連携した散策マップの作成 ☒(他)
  - T 著名人によるSNSでの魅力発信 ☒
  - U ボランティアガイドの育成 ☒



- 2-1 〇〇山信仰と修験の道**
- 【方針】**  
過疎化や少子高齢化などにより維持管理が困難な〇〇山信仰にまつわる文化財群の保存に係る事業を実施し、当地に根付いた信仰文化の歴史的価値の継承をはかるとともに、情報発信に努める。
- 【措置】**
- 8 〇〇神社社殿の屋根替修理・防災設備の設置 ☒
  - 9 〇〇古文書の修理 ☒
  - 10 〇〇古文書の調査 ☒(大)☒(歴博)
  - 11 社務所模様の修理及び高精細レプリカ作成 ☒(大)
  - 12 収蔵庫の改修 ☒
  - 13 境内古本市(ユニークベニュー)の開催 ☒
  - 14 舞殿での雅楽の演奏会(ユニークベニュー) ☒
  - 15 山車の修理 ☒
  - 16 行事・祭礼の調査およびデジタル記録作成 ☒(歴博)
  - 17 修験道ルートの確認と散策路整備 ☒
  - 18 修験道ルートのサイン整備 ☒
  - 19 参詣スタンプアプリの開発 ☒
  - 20 春と秋の文化財の特別公開 ☒
  - 21 古文書を根拠に食文化の復元 ☒(歴博)☒(大)

- 4-2 養蚕と農村の近代化**
- 【方針】**  
地域おこし協力隊と住民が連携し、養蚕の近代化に伴い隆盛した農村の魅力を活かして、賑わいを創出する。
- 【措置】**
- 22 ●家住宅土塀の修理 ☒
  - 23 ●家住宅庭園の整備 ☒
  - 24 △家住宅の農泊への改修 ☒(他)
  - 25 棚田のライトアップ ☒
  - 26 風穴のサイン整備 ☒
  - 27 ボランティアによる桑畑の清掃等 ☒
  - 28 ☆家住宅で地域おこし協力隊による郷土料理レストラン解説 ☒
  - 29 養蚕資料館の整備 ☒(他)
  - 30 ガイド詰所・インフォメーションセンター整備 ☒(他)
  - 31 糸紡ぎ体験 ☒

- 6-1 ●●街道と宿場町**
- 【方針】**  
住民や寺院と連携し、文化財を活用した観光を進め、地域振興を図る。
- 【措置】**
- 41 〇〇街道の美装化・サイクルロードの整備 ☒
  - 42 PFIで旅館を宿泊施設に改修・運営 ☒(他)
  - 43 〇〇家住宅を自転車と泊まる宿泊施設に改修 ☒
  - 44 〇〇家住宅でのブルーワーカー・カフェ ☒
  - 45 レンタサイクルの整備 ☒
  - 46 仏像の詳細調査と修理 ☒(大)
  - 47 寺院での座禅体験・コンサート等(ユニークベニュー) ☒
  - 48 まちなみをいかしたアートフェスティバルの開催 ☒
  - 49 特産品をいかした土産物の開発と販売 ☒(他)
  - 50 石地蔵の修復 ☒
  - 51 解説板の多言語化 ☒
  - 52 ボランティアガイドの育成 ☒
  - 53 歴史講座の開催・副読本の作成 ☒(歴博)

- 7-1 地歌舞伎と農村舞台**
- 【方針】**  
地歌舞伎と農村舞台を一体として存続を図る。
- 【措置】**
- 54 農村舞台の耐震補強 ☒
  - 55 地歌舞伎衣装の繕い ☒
  - 56 地歌舞伎の公演 ☒
  - 57 ARグラスによる歌舞伎の解説 ☒(他)
  - 58 こども歌舞伎の後継者育成 ☒(他)

- 1-1 〇〇古墳と副葬品**
- 【方針】**  
調査等で明らかになった情報を郷土学習にいかし、理解促進につなげ、郷土愛を醸成する。
- 【措置】**
- 1 ドローン・VRによる古墳解説映像の作成 ☒(他)☒(民)
  - 2 文化財副読本の作成 ☒
  - 3 学生を対象とした発掘体験 ☒
  - 4 3Dスキャナによる副葬品のレプリカ作成 ☒(歴博)☒(大)
  - 5 住民ガイドの育成 ☒
  - 6 調査成果のアーカイブ化 ☒
  - 7 専門職による出前授業 ☒(歴博)☒(大)

※措置は、全域を対象に実施するもの、関連文化財群や文化財保存活用区域ごとに実施するものなどに分け、それぞれ記載します。図の措置は一例です。